

水産物の週間市況について

東京都中央卸売市場 豊洲市場 水産農産品課

03(3520)8261～8262

2026 年 8 月 3 週 (8月14日～8月20日)

前年同期 (8月15日～8月21日)

1 品種別取扱状況

	総取扱数量	鮮魚類	冷凍魚類	塩干加工品
一日平均取扱数量 (t)	858	534	174	149
前週比 (%)	87	90	78	91
前年同期比 (%)	84	98	75	62

2 魚種別取扱状況(各地*：海外含む。前週・前年同期比の単位は%、該当する中値を比較して算出。)

品名	一日平均取扱数量 (t)					主産地	銘柄	卸売価格(円/kg)及び中値比較					今週の主力 (サイズ)
	取扱数量	前週比	増減	前年同期比	増減			高値	中値	安値	前週比	前年同期比	
マグロ	18.8	86	↓	44	↓	各地	生	6480	3279	2160	46	68	-
						海外	生	17280	7524	3240	115	90	-
メバチ	32.9	89	↓	86	↓	各地*	冷凍	2700	1578	1382	99	133	-
アジ	16.3	77	↓	53	↓	鳥取	中	2160	1368	864	113	137	170-250g/尾
						三重	中小	864	810	756	50	91	120g/尾
サバ	11.4	54	↓	59	↓	千葉ほか	—	1944	666	432	112	105	7-10入/5kg
イワシ	17.4	124	↑	91	↓	千葉	—	1296	675	540	88	172	90-100g/尾
スルメイカ	13.2	81	↓	86	↓	青森	—	2376	1368	756	139	115	25-50入/5kg
冷スルメイカ	4.3	98	↓	159	↑	各地	—	2376	-	2160	-	-	-
サンマ	17.1	323	↑	35	↓	北海道	生	21600	7560	1080	-	519	130-150g/尾
						各地	解凍	1080	-	648	-	-	-
カレイ	6.4	100	→	139	↑	北海道	マ	1080	783	540	84	85	-
						青森ほか	マコ	1080	972	864	75	-	-
						北海道	アカ	864	756	648	82	88	-
						北海道	アサバ	-	864	-	-	133	-
ハマチ	12.0	74	↓	141	↑	愛媛ほか	野ヱ	1836	1782	1728	100	97	5-6kg/尾
塩サケ	29.7	119	↑	125	↑	北海道	トキ	3240	3024	2700	100	122	-
						北海道	アキ	1188	1134	1080	100	75	-
タラ類	1.7	68	↓	63	↓	-	生	-	-	-	-	-	3-5kg/尾
						宮城	ぶわ	1728	-	1512	-	-	4-7枚入/5kg
カツオ	31.1	77	↓	140	↑	宮城	—	2160	1080	432	112	118	2-5kg/尾
キンメダイ	11.2	320	↑	178	↑	東京ほか	—	5724	2340	1512	103	87	0.5-1.5kg/尾

3 豊洲市場概況

今週は14日(金)、15日(土)、19日(水)が休市のため3日間の営業。鮮魚類の取扱数量は前週に比べ10%の減少。
一般鮮魚類を中心に取引を見ると、17日(月)、3連休明けの月曜日、買い気は順調。アジは1-2割続伸、サンマ、サバ、スルメ、カツオはそれぞれ堅調。相場全体では続堅調。18日(火)、休市前の取引、買い気はまずまず。サバは1-2割上伸、イワシとアジはともに堅調、ブリは強保合、サンマは3-4分の1の値に急落、カツオは2-3割下落、スルメは軟調となった。相場全体ではまちまち。20日(木)、休市明けの取引、買い気は良かったが、入荷の回復や週前半までの高値疲れもあり、ほぼ全面安の値動き。サンマとカツオはともに続落、アジとブリはともに下落、スルメは小安く、サバとイワシはともに小反落だった。相場全体では下落。
主要鮮魚別に見ると、アジは中型が鳥取、中小型が三重主体に入荷。数量は前週に比べ23%減少、価格は中型が1.5割弱高、中小型が5割安。サバは千葉と宮城主体に入荷。数量は前週に比べ46%減少、価格は1割強高。イワシは千葉主体に入荷。数量は前週に比べ24%増加、価格は1割強安。スルメイカは青森主体に入荷。数量は前週に比べ19%減少、価格は4割弱高。カツオは宮城主体に入荷。数量は前週に比べ23%減少、価格は1割強高。サンマは北海道主体に入荷。数量は前週に比べ約3.2倍増加。